

2) 需要家主体のエネルギーシステム改革

原発依存度を低減する中では、需要家自らが行う再生可能エネルギー、省エネルギー、更には分散型エネルギーが極めて重要な役割を担う。国民一人一人が需要家として、あるいはエネルギーの生産者として、主体的にエネルギーを選択することが必要となる。多様な主体が参画できる、需要家主体、分散型の新しいエネルギーシステムに転換していく。この重点としてエネルギー・電力システム改革を実行する。